

言葉の意味が分かること

ワークシート②

五年 組 名前

													小見出し
													要約文
													言葉の意味が分かることはおく深い。言葉の意味に広がりがあるからだ。
													言葉の意味に広がりがあるとは、どういうことか。
													コップにはさまざまなものがあり使い方もちがう。
													「コップ」という言葉が指すものなかにも、色や大きさ、使い方などさまざまなたちようをもつものがふくまれる。
													小さな子どもは、かぎられた例をもとに、言葉のはんいを自分で決め使う。
													「歯でくちびるをふんだ」というまちがいに会った。どうしてこんな言いまちがいをしたのだろうか。
													「かむ」という言葉を知らず、にた意味で覚えた「ふむ」を使ったのである。言葉のはんいを広げて使いすぎたのだ。
													アメリカ人留学生が「朝食にスープを食べた」という言った。どうしてこのような表現をしたのだろうか。
													英語と同じ感覚で「食べる」という言葉を使ったからだ。日本語の「食べる」と英語の「eat」は、意味の範囲がちがうのだ。
													一つの言葉をどの範囲まで広げて使うかは、言語によって異なる。
													言葉を適切に使うためには、言葉を面としてとらえる必要がある。
													言葉を学ぶとき「言葉は面である」ということについて考えてほしい。

